

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202020300		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	創業支援事業		予算事業名	創業支援事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本秀文		担当者名	岡部一成
取組み事項		商業者による経営革新的な取り組みを支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の創業希望者						
	誰(何)を対象として	市内の創業希望者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	新しい事業のアイデアや意欲を持つ者に対して、関係する機関が連携し、適時の専門的相談や情報の提供、セミナーの開催等、総合的な創業支援を行い、創業の促進を図る。						
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)		事業完了予定年度	(年度)		

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市、相生商工会議所、国民政策金融公庫、NPO法人ひと・まち・あーとの4社と市内金融機関で「相生市創業支援ネットワーク」を構築し、支援の連携と情報の共有により効果的に創業者を支援する。						
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画		
	創業相談者数	人	14	8	8	10		
	創業者数	人	6	3	2	5		
	創業塾受講者延人数	人	65	23	11	50		

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.048	0.100	208	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	710,106	1,142,912	161	1,113,140	97	1,121,784	101	
	事業費	930,370	928,500	100	527,120	57	516,000	98	
	合計	1,640,476	2,071,412	126	1,640,260	79	1,637,784	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,640,476	2,071,412	126	1,640,260	79	1,637,784	100	
合計		1,640,476	2,071,412	126	1,640,260	79	1,637,784	100	

## ※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円				
項目		28年度	29年度	30年度	31年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

## 4 評価指標

### 【有効性】

指標名1		創業塾受講者延人数							
指標説明(式)		人							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	65	23	35.4	11	47.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		創業塾受講者延人数あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/受講者延人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	10000	10000	100.0	10000	100.0	10000	100.0	
	実績	7692	21739	282.6	55556	255.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	-	-		-	
	実績			-	-	-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	市の関与の妥当性	相生市の発展のため、創業希望者および新規創業者への支援を行うことは行政の重要な施策である。	4
有効性	成果目標(改善)達成度	創業塾の受講者が例年より減少しており、実施期日など参加しやすい設定など検討が必要である	3
効率性	手段の最適性	市内の商工業の状況及び支援方法に精通する関係団体と連携し、創業者支援を行うことは最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況の中であるが、多くの創業相談を行い、創業者支援を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	創業の規模拡大、職種の多様化に向けた取り組みが必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	減少傾向にある創業塾の受講者を増やすため、内容を精査し、開催時期時間も調整のうえニーズに合ったセミナーを開催していく必要がある。

配点	32.5
総合評価	25

(2) 32年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	市内創業の支援と共に播磨圏域連携中枢都市圏の連携を活用しより市場の大きい姫路市等での中規模・多様な業種での創業を支援する取り組みが必要である。				
見直事項	播磨圏域中枢都市圏との連携強化				
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	維持